

## ぼくとわたしの日南町の宝もの

今回、この日南町の「生活季節暦(フェノロジーカレンダー)」を作成する上で、小中学生にアンケートを配布するとともに、地域の皆様からも色々とお話をお聞かせいただきました。その中で、日南町の「宝」として集計結果が多かったものを紹介します！

### 生活環境の宝

山菜  
いろいろ



### 産業の宝



トマト

### 自然の宝



オオサンショウウオ

### 歴史・文化の宝



とよふく  
楽楽福神社

日南町民の  
「宝さがしアンケート」回答  
No.1

### 不思議の宝

ノジュール群



## アクセス

**東京から** 羽田～米子空港(1時間) → 米子空港～車まで日南町生山まで(1時間30分)

**大阪から** 中国自動車道 → 米子自動車道 → 江府IC下車 → R181 → R180 → R183(3時間30分)

【新幹線】新大阪駅～岡山駅(50分) → 岡山駅～伯備線特急やくも～生山駅下車(1時間30分)

**岡山から** 岡山駅～伯備線特急やくも～生山駅下車(1時間30分)

**広島から** 中国自動車道～庄原IC下車 → R183(2時間30分)

**福岡から** 【新幹線】博多駅～岡山駅(1時間45分) → 岡山駅～伯備線特急やくも～生山駅下車(1時間30分)



2022年4月発行  
発行/一般社団法人 山里Loadにちなん、にちなんエコツアーズ推進協議会  
〒689-5211 鳥取県日野郡日南町生山153-2  
TEL:0859-82-1715 FAX:0859-82-1715

企画/株式会社未来政策研究所 イラスト・デザイン/森川まなみ 印刷/株式会社国府印刷社  
協力/日南町の皆様、日南町立日南小学校、日南町立日南中学校、特定非営利活動法人日本ハンザ研究所 理事長 岡田純 博士、にちなん中国山地林業アカデミー、鳥取西部農業協同組合日南支所、道の駅にちなん日野川の郷、日南町・日南町教育委員会

鳥取県日南町

# にちなんの もり 森林に生きる私達 いきもん

日本のたたら文化に磨かれた印賀銅と美しい山里空間

山里の宝ごよみ



# たたら時代のから、 人々の知恵や 工夫によって、 作り上げられた 美しい山里空間 日南町！

日南町のホタル舞う山里や美味しい米や野菜を作り出す田畑の風景は、山里の木々を燃料として利用することで鉄を精錬してきた「たたら製鉄の文化」から生まれたものです。

## ふるさとの原風景のルーツ

鉄の原料である砂鉄をとる為  
に山肌をけずって砂礫を大量に  
流して採取する方法を鉄穴流し  
といいます。この作業は、洪水時

の下流域の人々への水害の要因  
ともなりましたが、一方、中国  
山地の山あい肥沃な平地をも  
たらし、田畑の形成につながり  
人々の生活を支えてきました。

## 千年前から現在、 そして未来へ

たたら製鉄<sup>しやくたん</sup>終焉後も現在ま  
で人工林の間伐などの管理を続  
けてきたことで、ヒメボタルの  
幼虫が育つ環境が整いました。  
そして、田畑を活かした農業を  
営んできたことが、川や農業用  
水路の良好な状態を保つことと  
なり、結果としてカエルやヘビな  
ど生物を育み、それらを餌と  
するオオサンショウウオや猛禽<sup>もうきん</sup>  
類も生息できる多様な生物の生  
息地となっています。

今日の課題である持続可能な  
自然との共生関係は、たたら  
の時代からずっとこの日南町に受  
け継がれています。





## 日南町のたたら製鉄が 生み出した「たたら文化」とは。 人と自然が共生してきた 物語がそこにあります。

この地域だけで全国の7割の鉄を産出し、日本の鉄文化を支える中心的な役割を担ってきた日南町。そんなまちの誇りである「たたら製鉄」の歴史と、今あるゆたかな日南の森林や自然環境。その関係性を見てみましょう。

## 生物多様性 多様な自然とともに 生きるいきもんたち

たたらによる二次林や農地の拡大は、森林に生きる生き物たちにとって、多様な生息環境を生み出しました。そして現在の日南町は、豊かな森林・水を由来とした希少な動植物の生息地として知られています。これは人が関わりながら維持されてきた生態系であり、森林をはじめとする町内の豊かな山里の空間は、日南町の誇りであり次世代に受け継いでいきたい大切な宝です。



1億7千万年前から宝物  
「オオサンショウウオ」

世界最大級の両生類

## 日南町の たたら文化

### 自然との共生がはかられた 「たたら製鉄」

砂鉄を原料とし、木炭を燃料として用いる「たたら製鉄」。薪炭林(しんたんりん)では切株から萌芽させて30年後を周期とした伐採管理を行うとともに、枝葉も採取して小炭などにし、資源として無駄なく利用するなど、森林の再生力を活用しながら繰り返し利用しました。またその森林から流れ出すゆたかな水は、農閑期の鉄穴流し(かんながし)に利用するという、この地域の風土にふさわしい水利用方法であり、自然とうまく折り合いをつけながら成り立っていたと言えます。



一級河川  
「日野川」の源流地

### 「印賞鋼」

「印賞鋼」とは、鋼の商品名(商標)で、日本三大鋼の一つであり、山ノ上地域(大宮、阿毘線、山上等)で真砂砂鉄を使って作られていました。日南町には、日本刀の始祖と呼ばれた「伯耆(大原)安綱」が作刀したという伝説の地名「大原」が残っていることから、安綱の最高傑作であり、国宝「天下五剣」の1つ「童子切」とも関係があるのではないかとされています。



印賞鋼



印賞鋼を製造していた「吉野製鉄場」  
(資料提供:日南町教育委員会)



にちなんの  
たたら歴史探訪ツアー

### 「たたら文化」を守り、 つなげていく

「たたら製鉄」は、単なる鉄づくりではなく、森林の再生や、鉄穴流しの跡地を田畑に利用するといった、人と自然が共存し合う文化を育んできました。そんな「たたら文化」を後世にもつなげていくため、現在日南町では山里Loadにちなんを中心とした「たたらツアー」の開催や、教育委員会を中心とした保全活動など、新たな取り組みを進めています。



今も石組みが残る  
下谷中山(しもたんなかやま)鉄山跡  
(絵:内藤岩雄 筆画)

## 森林との共生

### 未来につなげる森林管理

日南町の林業は、鳥取県の木材素材生産量の約3割を占め、農業と並ぶ町の基幹産業となっています。環境や生態系に配慮し、将来にわたる木を伐り出し、活用していく循環型林業の実現に向けた取り組みを進めており、後継者育成にも着実に成果をあげているなど、わたらの時代から「森と共に生きる」人々の精神が受け継がれています。



日南町森林組合を中心に行われる間伐等の山の手入れ



日南町産の木材を使用した「にちなん日野川の郷」

## たたら文化と 農作物

### たたらが育んだ田畑

たたらによる鉄穴流し(かんながし)が行われたことにより、山が崩され平地となり、川に堆積した土砂などを使って田んぼが造成され、農地の拡大につながりました。江戸時代初期から末頃にかけて年貢高が増加したという記録も残っています。たたら製鉄の副産物である田畑は、現在では全国にファンを持つ「にちなん野菜」や「日南米」の生産地となっています。



お米、トマト、ピーマン、りんご、日本そば、しいたけ

## 心安らぐ福万来のホタル乱舞



ヒメボタル

コウチュウ目ホタル科



会の活動では、観賞道の伐木や草刈りなどが行われる

福万来は、ヒメボタルとゲンジボタルが同時かつ大規模に見られる全国でも珍しいホタル観賞地です。日南町の山上地域にて活動されている「山上まちづくりの会」の皆さんによって、ホタルの生息しやすい環境づくりが行われています。

## その他の いきもんたち

町内の9割を森林が覆う日南町。適正な間伐や管理は、そこに暮らすさまざまな生き物たちの生息を可能にし、その生き物たちとの出会いは私たちの暮らしや心を豊かにしてくれます。日南町では、タヌキやイノシシなどの野生動物や、ムササビやブッポウソウなどの希少な生き物が見られます。



ムササビ

日本の固有種。果では準絶滅危惧に指定されている希少な動物です。



ブッポウソウ

鮮やかな青色の翼が特徴的な希少種の夏鳥。「森の宝石」とも呼ばれます。



アサグマ

「穴を掘る」のが得意で、巣穴を作って生活しています。



ハッチョウトンボ  
(赤とんぼ)

世界最小のトンボ。果では絶滅危惧種に指定されている希少な生物です。



ヤマドリ

日本の固有種。全身が茶色っぽく、オスの尾が長いのが特徴です。



イノシシ

町内でたくさん見かけられます。肉はシビエ料理としても味わえます。



キジ

日本の国鳥。山地から平地の草原や河川敷、林などで見られます。



アユ

毎月6月に解禁される鮎釣りは、日南町の夏の風物詩となっています。





鳥取県日南町

にちなんの森林に生きる私達

日本のたたら文化に磨かれた印賀鋼と美しい山里空間

山里の宝ごよみ



ゆかりの人物らによる

鳥取県日南町の紹介

オッサンショウオ: わしらは、町民を何千年も昔から、見守っーたで。

日南町は米がうまいで。 (Illustration of a man)

スサノオノミコト: 冬は雪がようけ(たくさん)降るけん、豪雪地帯に指定されとどでー。

夏はホタルがようけとどるけん、日本中から人が集まるでー。

秋はイチヨウがきれいでな、みどれてしまったわー。

まつもとせいちょう 松本 清張

※平均降雪量…気象庁(鳥取県磯田地点)  
※平均河川水量…国土交通省(日野川・福俣観測所)



山里の花

山菜: 日南の山菜 自生する山菜は豊富。天ぷらやおひたしにして食べます。

林業

山里の生き物

オオサンショウウオ

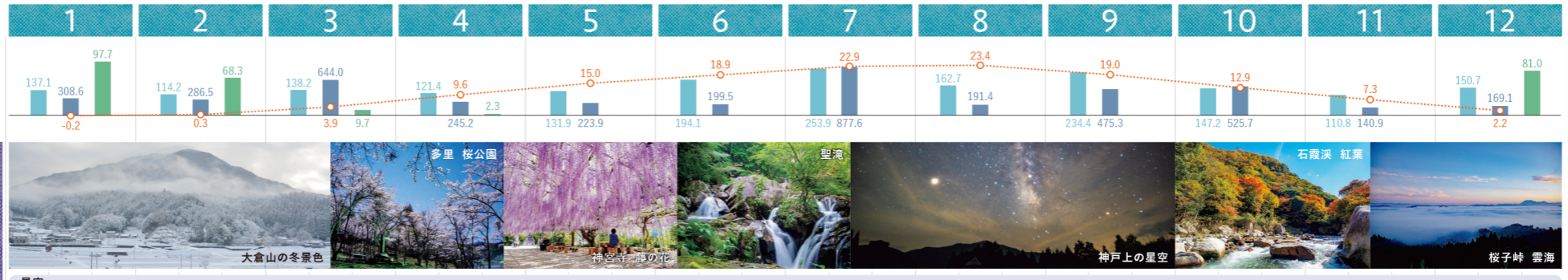
川の生き物

ホタル

水稲・作物

食文化

年中行事



Flower and plant distribution map showing locations like 石戸溪, 多里, 神宮寺, 聖滝, 出立山, etc.

Forestry activities timeline: 枝打ち, 間伐, 主伐, etc.

Wildlife and insect activity timeline: サシバ, ヤマドリ, ノウサギ, etc.

Amphibian and reptile activity timeline: オオサンショウウオ, カワガエル, etc.

Stream and river life activity timeline: カワヨリノボリ, カジカ, etc.

Firefly activity timeline: サワガニ, モリアオガエル, etc.

Rice and crop activity timeline: 稲作, ホウレンソウ, キャベツ, etc.

Food culture activity timeline: お雑煮, ぼたもち, etc.

Annual events activity timeline: 龍のドンドん, 桜公園のライトアップ, etc.

日南町(日野郡) たたら製鉄関連史: 紀元前290年頃、欠史八代(けしはちだい)のうちのひとり孝靈天皇(こうりてんのう)によって日野郡に棲む鬼が退治されたという逸話が各地に残っている。

古墳時代: 400年頃、(古墳時代初期)に使用された刀と楯が日南町印賀(しんが)地区の横穴古墳より出土。

平安時代: 901年(延喜元年)、平安時代に作られた辞書『和名類聚抄(わみやういじゅうしよう)の中に『日野六郷(ひのろくごう)に阿太郷(あたごう)あり』という一文字あり。

鎌倉時代: 1254年(建長6年)、古郡文次郎信賢(ふるいぶんじろうのぶたか)北面の武士が日野郡印賀阿太上山(あたあげやま)で製鉄を始める。

室町時代: 1540年(天文9年)、この時代より永代たたらが始まり、差し吹子・鉄穴流しが始まる。

江戸時代: 1600年(慶長5年)、日野郡の旧臣木下氏が上阿里緑地域大谷山を開拓。のちに、鉄山師となる。1638年(寛永15年)、松江藩による参勤交代で日野郡産鉄も運ばれる。

明治時代: 1871年(明治4年)、鉄山不況で郡内の農民、生活困窮。多里野で起こった百姓一揆(別名:奥日野一揆)に各地の農民が参加。

大正時代: 1921年(大正10年)、吉鉾の火が消えて日南町のたたら操業が終焉をもかえる。

参考文献: 『日野郡山産物年表』神迎館編、『三朝のたたら』三朝教育研究会編、『日野郡山産物年表』下田中興編、『下田中興の日記』下田中興編、『鳥取県史』鳥取県史編纂委員会編、『鳥取県史』鳥取県史編纂委員会編、日野町史、日野町史、以下WEBサイト『鳥取県日野郡のたたら』たたらNewほか